

楽しむことがなにより大事。

楽しく取組むことが脳活性化効果を高めます。逆にムリにやらせられているなど、無用なストレスを感じさせると脳に悪い影響がでることもあります。1つのプログラムが終わるごとにみんなで拍手するなど、楽しく取組むための工夫をしましょう。

また計算などは簡単な問題をスラスラ解くことが難しい問題を解くよりも広く脳を活性化させることがわかっています。「脳活性化プラスは決して難しくない」、「楽しく取組むのが脳にいい」ということを しっかり利用者に伝えましょう。

間違えたひとはスゴイ！ 間違いを笑い飛ばす気持ちで取組む

脳活性化プラスは学力向上を目指すお勉強ではありません。脳の活性化が目的です。「脳活性化プラス」は取組むことで脳は活性化します。間違えても、出来なくても気にしないでよいのです。

むしろ両手を使ったり、身体を動かしたりするプログラムなどではスラスラ出来ているときよりも、とまどったり、出来ないときのほうが脳が活性化しています。

「間違えてもスゴイ！脳活性化してお得！」とみんなで拍手しながらほめるのが脳活性化プラスのサポート術です。

間違いをみんなで笑い飛ばすような気持ちで取組みましょう。笑いは脳を一層活性化させます。

スタッフも利用者といっしょに楽しむ精神が大事。

スタッフが間違えても気にする必要はありません。かえってスタッフが間違えちゃいけないと緊張していると利用者にも伝わり、楽しい取組みができなくなります。

スタッフが間違えたときも、「脳がたくさん活性化してお得！」といって皆で拍手をして笑い飛ばしながら取組みましょう。

間違いを楽しんで笑う。
声を出して、みんなで笑う。
拍手をして、笑う。
真剣になって、笑う。
とまどって、笑う。
慌てていそいで、笑う。

